第 74 回 日本消化器内視鏡技師学会のご案内および演題募集のお知らせ

第 74 回日本消化器内視鏡技師学会を下記の要項にて開催いたします。皆様の多数の演題申込みとご参加をお願いいたします。

学会長：大波多　歳男　（大分三愛メディカルセンター　消化器病センター）
会　期：平成 27 年 5 月 28 日(金曜日)・29 日(土曜日)
会　場：西日本総合展示場新館　AIM ビル 3F
〒802-0001　北九州市小倉北区浅野三丁目 8-1
URL:http://www.convention-a.jp

【メインテーマ】～明日から実践～治療内視鏡介助の克服をめざして

日本消化器内視鏡技師会は、これまでチーム医療、消化器内視鏡技師の未来、目指すものなどさまざまなテーマから発表され活発な意見交換がなされてきました。しかし実際、内視鏡検査、治療現場ではマニュアルに基づく安全・安心・安楽な治療介助が出来ているのだろうか。ERCP、ESD、小腸バルーン内視鏡、EUS-FNA など、高度な内視鏡手技が行われるようになり消化器内視鏡技師としての役割を果たしていくための場を本学会で提供したい。

【シンポジウム】被験者にやさしい内視鏡・治療をめざして

今回のシンポジウムでは患者が安心して検査、治療を受けることができ、内視鏡検査・治療の介助の際に行っている工夫や取り組みなどを報告して頂きたい。

【パネルディスカッション】　病院機能評価に対しての業務改善と工夫

「病院機能評価」に対する消化器内視鏡技師の取り組みをどのような工夫をされているだろうか。内視鏡技師として実践されている内容について提示して頂きたい。

【ワークショップ】《事例検討から事例研究へ」＊看護委員会企画》

内視鏡看護委員会は学会時に事例検討会を企画してきた。本学会では、内視鏡看護のネットワークを通して事例検討の結果を持ち寄り、発表して頂いた上で、事例検討の中から看護のエッセンスを探りだし、事例研究へと紡いでいく。その過程をワークショップの中で実現し、これからの内視鏡看護研究を追及する。

【特別講演 1】消化器内視鏡技師に求められる知識、技術

消化器医師をお招きして、内視鏡検査、治療での消化器内視鏡技師に求められる知識、技術、これだけは知って頂きたいことを重点に置いて、ご講演して頂きます。

【特別講演 2】医療被曝をめぐる動向、医療被曝低減施設

消化器内視鏡技師は、ERCP・小腸 DB など透視下で検査・治療を行うケースが多く、医療被曝を受けることが多い。放射線科医師をお招きして、放射線に関する知識、技術、これだけは知って頂きたいことを重点に置いてご講演して頂きます。

【一般演題】

内視鏡診療における看護、検査、前処置、洗浄・消毒関連、治療、処置具、管理、教育など、内視鏡に関することを広く募集致します。

＊応募演題においては、倫理的配慮（実験研究における2群振り分けの詳細についても）の記載のない場合は採択されない可能性があります。

【イブニングセミナー】内視鏡検査に対する麻酔薬の知識と安全性

内視鏡室におけるMAC（monitored anesthesia care）の問題点

内視鏡麻酔薬について麻酔科医師に内視鏡セデーションの危険性について講演して頂きます。

【演題募集のご案内】

＊すべてのご応募はWebからのご登録となります。

＊日本消化器内視鏡技師会ホームページ（http://www.jgets.jp/）をご覧のうえ、ご登録ください。

＊演題登録期間は、平成26年9月2日（火 曜日）から平成26年10月31日（金曜日）です。

＊演題募集の詳細は日本消化器内視鏡技師会ホームページ、または、日本消化器内視鏡技師会報No.53号をご参照ください。

＊プログラム構成は、演題数、内容などにより変更（一般演題およびポスター）することがありますのでご了承ください。

【機器展示・書籍・相談コーナー】

内視鏡関連企業のご協力により内視鏡機器、処置具、消毒薬剤、感染管理、その他多くの内視鏡関連製品の展示会を開催します。

事務局：第74回日本消化器内視鏡技師学会事務局
〒870-1151　大分県大分市大字市1213
大分三愛メディカルセンター　消化器病センター
学会長：大波多　歳男
事務局担当：大波多　歳男　　山﨑　賢一
TEL:097-541-1311　　FAX:097-541-5218
E-mail：t-oha@san-ai-group.org